

# ジェネリック 医薬品の 注意点



「さいたまっちゃん」

- ◆先発医薬品（新薬）によっては、ジェネリック医薬品が発売されていないものもあります。
- ◆病気や体質によっては、医師の判断により、ジェネリック医薬品に変更できない場合があります。
- ◆医療機関や薬局によって、取り扱っているジェネリック医薬品のメーカーが異なります。
- ◆薬局に在庫がない場合は、お薬を用意するのに時間がかかることもあります。

## 医療用医薬品



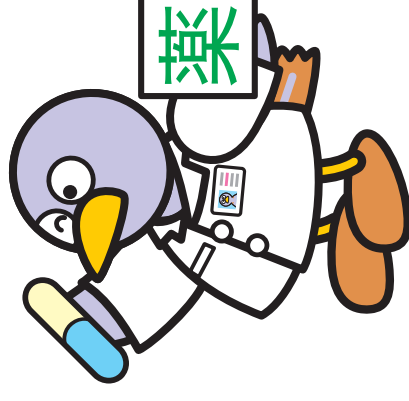
# かかりつけ薬剤師・薬局 を上手に活用

- ◆ジェネリック医薬品に変更したときは、「かかりつけ医」や「**かかりつけ薬剤師・薬局**」に御相談ください。
- ◆「**かかりつけ薬剤師・薬局**」を持つメリット
  - ①複数の医療機関から出された薬の情報を1つにまとめ、重複や飲み合わせを**チェック**します。
  - ②休日や夜間など薬局の開局時間外も、電話で薬の使い方や副作用等の**相談**に応じています。
  - ③薬の**治療効果**を高めるため、**かかりつけ医**や**医療機関と連携**しています。
- ◆身近に「**かかりつけ薬剤師・薬局**」を持ち、上手に活用しましょう。

### ●問い合わせ先●

埼玉県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会  
埼玉県保健医療部薬務課  
さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL 048-830-3622  
FAX 048-830-4806

# ジェネリック 医薬品を 選びましょう



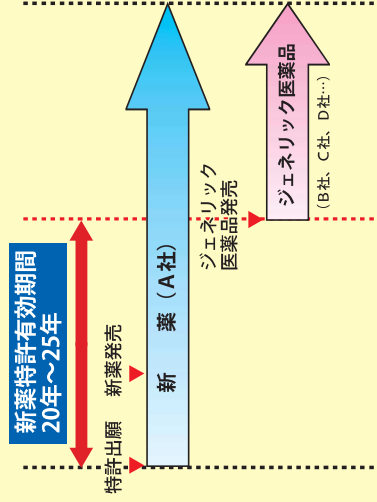
埼玉県マスコット「コバトン」

彩の国 埼玉県

## 「ジェネリック医薬品」とは？

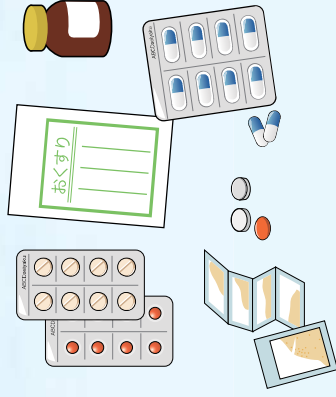
ジェネリック医薬品とは、先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分の低価格な医療用医薬品です。

新しい技術で味や飲み易さ、使用感が改良されたものもあります。



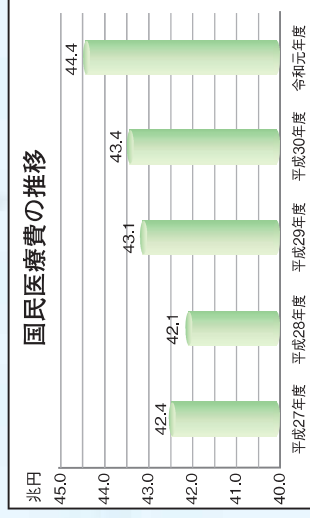
## 効き目、安全性について

ジェネリック医薬品は、国が先発医薬品と品質・有効性・安全性が同等であると確認した上で製造販売されています。



## ジェネリック医薬品に切り替えると

ジェネリック医薬品の使用は、一人ひとりの保険料の負担軽減につながるほか、国民医療費の増大を抑制することにより現在の優れた医療保険制度を維持し、次の世代に引き継いでいくことに貢献します。



(出典) 厚生労働省 令和元年度国民医療費の概況

